



武蔵御嶽神社ウェブサイト

<協力>

青梅市教育委員会
青梅市郷土博物館
大多摩観光連盟
青梅市観光協会
御岳山観光協会
武蔵御嶽神社



掲載記事・内容等を許可無く
転載・再利用はできません。

Copyrights©武蔵御嶽神社




Musashi-Mitake-jinja Shrine

武蔵御嶽神社
武蔵御岳神社
무사시미타케 신사
Sanctuaire Musashi-Mitake-jinja
Храм Мусаси-Митаке-дзиндзя
Kuil Musashi-Mitake-jinja
Đền Musashi-Mitake-jinja
Musashi-Mitake-Schrein
ศาลเจ้ามุซาซิมิตาเกจินจา

武蔵御嶽神社

日本語



古来より武蔵国を守ってきた 天空の神社

御岳山の山上に鎮座する武蔵御嶽神社（むさしみたけじんじゃ）。

武蔵の国を一望するこの地は古くから霊山として崇められてきました。山岳信仰の修験の中心地として、鎌倉から江戸までの有力な武将たちの信仰も集めました。また五穀豊穡・諸災厄除の神としても庶民の信仰を集め、ニホンオオカミを神格化した大口真神は「おいぬ様」として広く親しまれ、現在は愛犬家の信仰も増えています。

昔のたたずまいを残す参道や、豊かな自然に心洗われるひと時をお過ごし下さい。

御岳山 MAP

御岳登山鉄道のケーブルカー「御岳山駅」から神社までの道は、舗装されています。途中、急な坂道や長い階段もありますので、歩きやすい靴でご参拝ください。



おし 御師の家

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------------|
| 1 静山荘 | 10 秋山荘 | 19 山中荘 | 【滝本の御師の家】 |
| 2 うつぼや荘 | 11 藤本荘 | 20 町久保田 | 1 小高家 |
| 3 丸山荘 | 12 能保利 | 21 駒鳥山荘 | 2 北島家(西北島) |
| 4 片柳荘 | 13 憩山荘 | 22 宝寿閣 | 3 北島家(仁家) |
| 5 登奈利荘 | 14 旅荘鞠矢 | 23 南山荘 | 4 青木家 |
| 6 高名荘 | 15 御岳山荘 | 24 山楽荘 | 5 天野家 |
| 7 東馬場 | 16 山香荘 | 25 林家 | 6 下田家 |
| 8 嶺雲荘 | 17 蔵屋 | | |
| 9 原島荘 | 18 麻知家 | | |

武蔵御嶽神社 交通のご案内

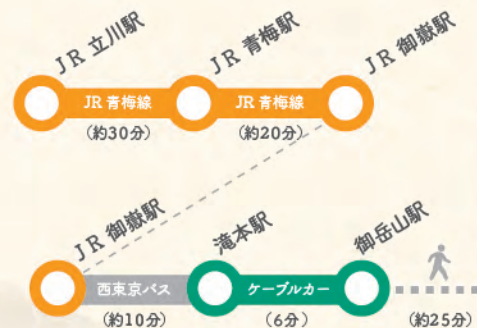
【公共交通で】

JR 青梅線：JR 立川駅 → JR 青梅駅 → JR 御嶽駅下車 → 西東京バス or 多摩バス：JR 御嶽駅 → ケーブル下下車 → 御岳登山鉄道ケーブルカー：滝本駅 → 御岳山駅下車 → 徒歩約25分

【お車で】

・高速中央道八王子 IC 第2出口～国道411号線を青梅方面 → 約50分
 ・圏央道青梅 IC より青梅街道を奥多摩方面 → 約40分

御岳登山鉄道ケーブルカー滝本駅付近に駐車場の設備あり



武蔵御嶽神社

武蔵御嶽神社 境内

- ① 奥宮遙拝所
- ② 大口真神社
- ③ 太占祭場
- ④ 北野社
- ⑤ 巨福社

- ⑥ 常盤堅磐社(旧本殿)
- ⑦ 神明社
- ⑧ 皇御孫命社
- ⑨ 八柱社
- ⑩ 二柱社

- ⑪ 本殿
- ⑫ 中門・石の間
- ⑬ 神山靈土歌碑
- ⑭ 東照社
- ⑮ 神楽殿
- ⑯ 神符授与所
- ⑰ 幣殿・拜殿
- ⑱ 寄付者芳名碑
- ⑲ 社務所
- ⑳ 畠山重忠像

- ㉑ 宝物殿
- ㉒ 旧宝庫
- ㉓ 銅鳥居
- ㉔ 三柱社
- ㉕ 稻荷社
- ㉖ 女坂
- ㉗ 霧の御坂
- ㉘ 隨身門
- ㉙ 疱瘡社
- ㉚ 手水舎
- ㉛ 大鳥居
- ㉜ 鳥居前広場
- ㉝ トイレ

境内には、本殿・拜殿をはじめ数々の神を祀るお社があります。
各社には、午前9時～午後4時まで自由に参拝できます。
※ 祭礼のため閉鎖する場合があります



ほんでん ⑪ 本殿

最も古い神社建築様式とされる神明造りの本殿は、明治11年(1878)に建てられました。



ずいしんもん ⑳ 隨身門

朱塗りが鮮やかな隨身門。
神と仏・神社と寺院を区別させる「神仏分離」前(1868年以前)は、仁王門でした。



へいでん 幣殿 ⑰ 幣殿・拜殿

入母屋造り、唐庇向拜付の朱塗りの拜殿です。
慶長11年(1606)、徳川家康の命により江戸の西側から悪いものが入らぬよう「西の護り」として拜殿を東向きに建て直されたと伝え、現在も東京の街を見守っています。



おほくちまがみしや ② 大口真神社

「おいぬ様」と親しまれ、魔除けや災除けにご利益があります。



ときはかきはしや ⑥ 常盤堅磐社(旧本殿)

慶長11年(1606)、徳川家康が大久保石見守長安を普請奉行として再建した旧本殿で、元禄13年にも5代將軍綱吉が改修しました。昭和27年(1952)11月に東京都指定有形文化財に指定。

すめみまのみことしや ⑧ 皇御孫命社

もともとは徳川家康を祀る東照社であったため、三つ葉葵の紋が随所に見られます。



とうしょうしや ⑭ 東照社

御祭神は、徳川家康公。扉には「三葉葵」の紋があります。



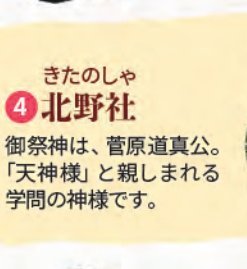
こふくしや ⑤ 巨福社

境内の土を持ち帰り、畑などに撒くと虫の害を防ぐといわれています。「御砂」は神符授与所で頒布しています。



しんざんれいどかひ ⑬ 神山靈土歌碑

「この神山の土の靈力が虫などの害を防ぐ」という意味の御祭神徳が刻まれ、揮毫は山岡鉄舟によるものです。



きたのしや ④ 北野社

御祭神は、菅原道真公。「天神様」と親しまれる学問の神様です。



しんめいしや ⑦ 神明社

「神明様」と呼ばれる、伊勢の神霊をお祀りしています。



ふたはらしや ⑩ 二柱社

日本神話で最初の夫婦神であり、生命の祖神とされています。



やはらしや ⑨ 八柱社

春日社、八幡社、蟹養社、八雲社、座摩社、月乃社、国造社、八神社の八つの神社をお祀りしています。



武蔵御嶽神社 由緒



創建は崇神天皇の御代と伝えられ、古くより関東の霊山として信仰されてきました。天平8年(736)、国家の守護・安定を祈願し、蔵王権現(ざおうごんげん)の像を安置して以来、東国の蔵王信仰の中心として広く知られるようになりました。鎌倉時代以降、武将の信仰も篤く、鎧・鞍・太刀などが数多く奉納されました。

武蔵御嶽神社に祀られる「大口真神」は、「白い狼が道に迷った日本武尊(やまとたけるのみこと)を導き、山を守る大口真神となった」という伝説があり、以来、

おいぬ様として親しまれ、農耕・諸災厄除の神として信仰されています。江戸時代に「御師」たちはおいぬ様が描かれた御神符を配り歩き、御嶽信仰は関東一円に広がりました。

※ 明治7年(1874)に社名が「御嶽蔵王権現」から「御嶽神社」となり、昭和27年(1952)に、現在の「武蔵御嶽神社」と改められました。



武蔵御嶽神社の祭礼・行事について

祭礼行事には、参列・参加ができる祭典もございます。詳細は、神社社務所へご確認ください。

1月1日	元旦祭
1月3日	太占祭 (非公開)
2月節分日	節分祭
3月8日	春季大祭
4月29日	奉納剣道
5月7,8日	日の出祭
6月～11月 第4日曜日等	太々神楽 一般公開(年8回)
6月30日	夏越の大祓
9月29日	流鏝馬神事
11月8日	秋季大祭



がんとんさい 元旦祭 (1月1日)

新年に行われる、家内安全・商売繁昌・厄難消除など一年の健康と幸福を祈る祭り。

せつぶんさい 節分祭 (2月節分日)

拝殿から豆を撒いて邪気を祓い、一年の無病息災を祈る。

しゅんき しゅうきたいさい 春季・秋季大祭 (3月8日・11月8日)

神楽舞や三管・三鼓の雅楽の演奏など、古式ゆかしい儀式が行われる。

ひのでさい 日の出祭 (5月7日, 8日)

神輿渡御・鎧武者や稚児など行列が参道を進む、当社で最も格式の高い祭り。

だいだいかぐら 太々神楽 (6月～11月)

神様に奉納する神楽は最も正式な参拝方法とされ、200年以上の歴史がある。

ふとまにさい 太占祭 (非公開) (1月3日)

牝鹿の肩甲骨を焼く、できた割れ目でその年の農作物の豊凶を占う神事。

ほうのうけんどう 奉納剣道 (4月29日)

神社大鳥居前広場で盛大に執り行われる、中里介山の小説『大菩薩峠』ゆかりの剣道大会。

なごしのおおはらえ 夏越の大祓 (6月30日)

人が通れるほど大きな茅の輪を設置し、輪の中を潜ることで穢れを祓い清める。

やぶさめしんじ 流鏝馬神事 (9月29日)

一般的な流鏝馬とは異なり夕刻から一対の篝火を灯して行われる、儀式としての神事。